

# 平成28年度 大洲市職員人事異動

## 市職員269人が4月1日付で異動

### 人事異動の基本方針

今年度の人事異動は、職場の活性化を図るため長期勤務（おおむね4年以上）となる職員を可能な限り異動させるとともに、女性職員の積極的登用を図り、適材適所の人事配置に努めました。

#### 1 主要な事務事業推進のための人事配置

- ▽「えひめいやしの南予博2016」の円滑な推進と観光戦略の推進体制の強化を図るため、観光まちづくり課に職員を1人増員するとともに、女性管理職（課長補佐）を配置します。
- ▽特別支援教育に関する指導相談など支援体制の強化を図るとともに、特別支援教育の充実のため、教育総務課に県教育委員会から派遣された専門職員を配置します。
- ▽えひめ国体の開催に向け、運営管理体制の強化を図るため、えひめ国体推進課の職員を増員配置します。
- ▽女性職員の積極的登用を行い、観光まちづくり課のほか社会福祉課に女性課長補佐（保健師）を配置するとともに、連絡所に女性係長を配置します。
- ▽子育て支援課の事務分担を見直し、「子育て企画係」と「保育係」を「子育て支援係」に統合し、子ども・子育て支援事業などの業務の効率化と取り組みを推進します。
- ▽高齢福祉課の事務分担を見直し、「高齢者福祉係」を「地域支援係」に変更し、平成29年度実施予定の介護予防・日常生活支援総合事業体制

への移行に備えます。

- ▽大洲幼稚園と喜多幼稚園に専任の園長（課長補佐級）を配置し、管理運営体制を見直します。
- ▽清流園に課長級職員を配置し、施設の長寿命化に関する取り組みを推進するとともに管理体制の強化を図ります。
- ▽多様な地域課題に迅速かつ柔軟に対応できるように、肱川支所と河辺支所内の4係を「地域振興係」として一つにまとめ、職員間の業務量の均衡化と相互の応援体制の強化を図ります。
- ▽人口減少への対応を図るため、空き家などの利活用、移住・定住の支援に関する総合調整、相談窓口を企画政策課内に設置し、専任職員（職員OB）を配置します。
- ▽愛媛県との相互人事交流を継続し、農林水産課に農商工連携推進担当の課長補佐として県職員1人を受け入れるとともに、県原子力安全対策課へ職員1人を派遣します。
- ▽本市の施策に係る情報の収集、発信などのため、引き続き愛媛県東京事務所、南予地方局、愛媛地方税滞納整理機構へ職員を派遣します。
- ▽平成26年度より再任用制度を運用しているなか、本年は、部長級定年退職職員を含め6人を再任用します。

#### 2 異動総数

- ▽異動総数 269人（昨年度 297人）
- ▽異動率 37.7%（昨年度 41.1%）



#### 新規採用（24人）

末光 （看護師） 真子	菊地 （看護師） 優花	土居 （看護師） 佳奈	稲田 （看護師） 菜摘	菊地 （看護師） 真紀	久保 （臨床工学技士） 昌史	渡邊 （市立図書館） あかり	窪田 （大洲幼稚園） 優希
藁池 （大和保育所） 歩	梅田 （喜多保育所） 優香	中野 （南久米保育所） 莉沙	上田 （新谷保育所） 歌穂	澤田 （菅田保育所） 亜杏	鼻崎 （治水課） 祐介	足立 （都市整備課） 望美	奥嶋 （建設課） 一世
松田 （農林水産課） 佑太	富永 （教育総務課） 佳緒	堀 （会計課） 和音	松崎 （税務課） 明良	川上 （危機管理課） 史織	武田 （保険年金課） 京子	吉田 （社会福祉課） 杜志	西川 （税務課） 和樹



## 鹿鳴園テニスコートがリニューアル

昨年11月上旬から改修工事が行われていた、肱川風の博物館・歌麿館横にある鹿鳴園テニスコートが完成し、開幕式が開催されました。鹿鳴園のテニスコートは、コート表面の損傷やひび割れが激しく、ハードコート仕様だったため競技者の足腰への負担が大きかったことから、全面砂入り人工芝に改修されました。

開幕式で小島副市長は「鹿鳴園テニスコートは、昭和63年度に整備され、経年劣化によりコートの損傷が大きくなっていた。今回の

改修により、快適にテニスを楽しめる施設になった。平成29年のえひめ国体を契機に、市内において競技人口の増加を期待したい」とあいさつしました。その後、小島副市長ら6人が始球式を行い、完成を祝いました。

リニューアルしたテニスコートでは、「鹿鳴園テニスコート改修記念中学生ソフトテニス大会」が開催され、男子は6校12チーム、女子は7校8チームが参加し、新しいテニスコートで熱戦が展開されました。

## 高齢者叙勲

### 旭日単光章



山中 美茂さん  
(肱川町予子林)  
元肱川町議会議員

山中さんは、長年にわたり地方自治に尽力されたご功績により、このたび「旭日単光章」を受章されました。

## 平成27年度 土砂災害防止に関する作品コンクール表彰

国土交通省と愛媛県では、小中学生のみなさんに土砂災害およびその防止についての理解と関心を深めてもらうため、毎年「土砂災害防止に関する作品コンクール」を開催しています。

平成27年度のコンクールで、大洲市から入賞し、表彰された人を紹介します。

※学年は、作品作成時のものです。



【小学生・絵画部門】  
愛媛県砂防協会会長賞  
神野 莉穂さん  
(喜多小学校6年)

## 中村修二博士ノーベル物理学賞受賞記念式典を開催



2014年に高輝度青色LED（発光ダイオード）の発明、製品化の成功でノーベル物理学賞を受賞した中村修二博士の受賞記念式典が、3月24日（木）、大洲市民会館など3カ所の会場で開催されました。

当日は、講演会に先立ち、三の丸並木道お殿様公園横に設置された顕彰碑の除幕が行われました。

顕彰碑は、大洲の青石（輝緑岩）を使用し、「ノーベル物理学賞受賞 中村修二博士顕彰碑」と刻まれ、写真陶板が埋め込まれています。その横には、略歴や顕彰文を記した副碑も据えられています。

除幕後、中村博士は「高校生の時、毎日この道を歩いて通学していた。思い出深い、最高の場所に設置してもらい感謝している」とあいさつされました。

市民会館大ホールでは、「教育、研究等における日米の違い」と題された講演会が行われ、市内4校の高校生を含む770人が出席しました。



講演では、中村博士の少年時代から会社員時代までの話やアメリカでの生活、ノーベル賞受賞後の生活の変化などについて話されました。

また、高校生9人から、「今でも夢がありますか」「今の高校生に望むことは」「大洲はどうすれば良くなるか。どんな町を目指すべきか」などの質問に対し、「今の夢は、LEDのレイザライイトを完成させること」「高校生くらの年齢で、海外生活を経験して欲しい。5年くらい海外で生活すれば、英語が喋れるようになる。英語が喋れるようになれば世界を相手に仕事ができる」「大洲は静かで、じっくり勉強をする環境が整っている。」



若い人が大洲でベンチャー企業を立ち上げ、世界を相手に仕事をしてほしい」など、一つ一つに丁寧に答えられました。

式典の最後には、JR伊予大洲駅前設置されたLEDモニュメントの除幕が行われました。

このモニュメントは、「大洲城」や「臥龍山荘」「長浜大橋」が描かれたガラスパネルが三角柱状に組まれていて、背面からLEDライトが当たると、花火やうかいの様子、肱川あらしが浮かび上がる仕組みになっています。

毎日午後7時から午前0時までライトアップされ、大洲の玄関口で、観光客のみなさんをお出迎えすることになります。





(市内の自主企画グループメンバー)



## 「南予いやし体験プログラム」交流会が開催されました

3月13日(日)、「南予いやし体験プログラム」交流会がリジューラル大洲で開催されました。今回は、体験型の自主企画プログラムを担う62の住民グループ約150人が参加しました。また、南予全域では、108グループが117のイベントを企画しています。

会場では、映画監督や甲冑姿などさまざまなコスチュームの参加者が、事業内容のPRや各グループ間での交流を行いました。

中村知事からは「将来の南予の活性化に結びつけてほしい」とエールが送られ、南予博開催に向けて、一層機運が高まりました。

「南予いやし体験プログラム」では、工夫を凝らしたさまざまなプログラムが企画されています。みなさんにもぜひ体験してほしい、SNSなどでの情報発信をお願いいたします。

地域一体となって、南予博を盛り上げましょう。

### 「南予博盛り上げ隊」募集中

南予博を盛り上げていただくため、SNSでの情報発信や独自イベントの開催などの活動を行うとともに、南予博のほりやポスターなどを設置いただける企業・団体を募集しています。

たくさんのご応募をお待ちしています。



※詳細は、南予博公式ホームページをご覧ください。



## えひめいやしの南予博2016 観光まち歩きガイド講座(初級編)修了式

3月17日(木)、市立図書館で観光まち歩きガイド講座修了式が行われ、受講生11人に清水市長から修了証書が授与されました。

この講座は、南予博に訪れる観光客へのおもてなしを充実させるため、昨年11月に開講しました。これまで15回の講座が催され、大洲の観光に関する基礎知識を学び、まち歩きコースでの現地研修などを行いました。今回の修了者は、4月から中級編に進み、個別研修や観光客の案内を経験し、南予博のまち歩きイベント「おおず歴史華回廊」の案内人として活躍することになります。

なお、次回の初級編講座は、11月ごろから始まる予定です。



## 長浜水族館の復活を目指して

3月28日(月)、長浜地区の住民らでつくる「長浜まちづくり協議会」(戎範久会長)、「長浜地区自治会連絡協議会」(東信利代表)のメンバーら5人が、30年前に閉館した「長浜水族館」を復活させようと集めた13,731人分の署名と要望書を、市と市議会に提出しました。

長浜水族館は、昭和10年に竜宮城をイメージして建てられましたが、昭和61年に老朽化と経営不振により取り壊されました。

要望書提出に際し戎会長は「長浜高等学校水族館部の活躍で、水族館復活の機運が高まっている。ぜひつってほしい」と期待を込めて話されました。



大洲市を守る消防団員の活動や取り組みを、シリーズでご紹介します。

## 地域防災の要として



大洲市消防団入団式が4月5日(火)、市役所で開催されました。当日は、入団者46人のうち30人が参加し、代表者に中川消防団長から辞令書が渡されました。式のなかで清水市長は「消防団員として誇りをもって行動し、地域の安心安全のために頑張ってください」とあいさつしました。また、中川消防団長は「消防団の活動は、家族や職場、地域住民など、多くの人たちに支えられている。これから一緒に頑張ろう」と訓辞を述べられました。

## 大洲市消防団入団式



全国的に消防団員数は減少傾向にあり、市でも防災活動を行うために想定している定数を満たしていません。そのため、機能別消防団員制度の導入など、団員の確保に力を注いでいます。本年度入団した団員たちは、厳しい訓練や研修などに参加し、自己研さんに取り組んでいくこととなります。今後、若い力が地域防災活動の中心的役割を担うことが期待されます。

## 文化財

中津のトチノキ  
大洲市指定天然記念物  
高知ノ宮



肱川町中津地区の高知天神宮の境内にある本樹は、樹高が約23m、根回りが6.1mで、幹が約4mのところまで6本に分かれ、北に20m、西に13mと大きく広がっています。樹齢は約200年にもなり、秋には約5cmの大きな実をつけるなど、現在でも樹勢旺盛です。実は渋抜きすると食べられることから、古くから食用としても重宝されてきました。

近くにあるイチヨウやクスノキの大木とともに植栽された可能性があり、お宮のご神木として大切に守られてきたものと想像されます。

本樹は、市内のトチノキの中でも最大のもので、また、トチノキは、標高の高い場所で生育することは比較的少ないことから、とても貴重なものといえます。

(昭和47年10月7日指定)

## 野鳥

コシアカツバメ(腰赤燕)  
スズメ目 ツバメ科  
大きさ19cm



暖かくなって、一番後に渡って来るツバメの仲間です。ツバメの仲間では、体が一番大きく、腹部はクリーム色に縦じま模様、背中は黒っぽく、腰は名前の由来にもなった赤茶色で、尾羽が長いのが特徴です。鉄筋コンクリートの建物の軒下などに、土と草を混ぜた徳利状の巣を作り子育てします。

一昔前までは、ツバメが家にやって来ると縁起がいいと歓迎して、大切に子育てを見守っていました。しかし、農地の宅地化や農業の衰退などにより、長い間続いた生き物と人間との関係が薄れてきました。最近では、ふんをする厄介者としてしか思われなくなり、営巣場所にネットを張って追い払うようになりました。

有害な殺虫剤を使用するより、ツバメに虫を捕ってもらうほうが、ずっと体にも自然にも優しいと思うのは私だけでしょうか。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト

## 国土交通省大洲河川国道事務所・山鳥坂ダム工事事務所だより

## 「肱川における減災対策協議会」開催

平成27年9月、関東・東北豪雨により利根川水系鬼怒川の堤防が決壊し、氾濫流による家屋の倒壊・流出や多数の孤立者が発生しました。このことを踏まえ、社会資本整備審議会会長から「施設の能力には限界があり、施設では守れない大洪水は必ず発生するとの考えに立ち、水防災意識社会を再構築する必要がある」と国土交通大臣に答申され、平成27年12月に「水防災意識社会再構築ビジョン」が策定されました。

今後、気候変動の影響により施設能力を上回る洪水の発生頻度が高まることが予想されます。肱川でも、鬼怒川と同様に氾濫することとを前提とした「水防災意識社会」を再構築する取り組みが必要です。そのため、河川管理者、県、市などが連携して、減災のための目標を共有し、ハード対策・ソフト対策を一体的かつ計画的に推進するため、3月18日(金)、減災対策協議会が開催されました。

会議では、協議会規約(案)、「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく取り組み、現状のリスク情報や取り組み状況の共有、減災のための目標(案)および目標達成に向けた主な取り組み内容(案)、



平成23年台風15号による浸水被害(東大洲)

今後のスケジュール(案)の各議題について事務局から説明があり、その後、委員それぞれの立場からの意見や取り組み事例が紹介されました。清水市長からは「大洲市は、肱川の水害との戦いと恵みの両方で発展してきた町であり、今後も関係機関と連携しながら取り組んでいきたい」との意見が出されました。

会議では、今後5年間で達成すべき目標として「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害最小化」が了承されました。この目標を達成すべく、5月下旬開催予定の第2回協議会に向けて、より具体的な実施施策について検討を重ねていきます。

## 大洲商工会議所青年部 大洲ご当地クイズ

サクラが散り、暖かさが本格的になってくると、次に見頃となるのが富士山とみすやまのツツジです。西日本有数の約63,000本のツツジが、山頂に咲き誇ります。

大洲商工会議所青年部では、毎年つつじまつりの時期に合わせて、富士山観光売店を運営しています。

今年は、展望台の改修工事も行われ、きれいになった場所で開幕式を行いました。

ぜひ、みなさんもツツジを鑑賞しながら、お弁当を食べ、お花見をしてみたいはいかがでしょうか。

## 【今月のクイズ】

富士山観光売店は、今年で開幕何周年でしょうか。

- ① 15年
- ② 35年
- ③ 45年



## 【先月号のクイズの解答・解説】

えひめいやしの南予博大洲編の「おおず〇〇〇みつけにきませんか…セピア色の風景」の〇〇〇に入る言葉は何でしょうか。

- ① 華回廊
- ② ものがたり
- ③ いやし旅

解答…①

解説…えひめいやしの南予博では、およそ270のイベントが行われます。まさに、地元の人による地元活性化イベントです。

大洲では、およそ20イベントが開催される予定です。今回、南予博に参加する自治体の中で一番多いイベント数となっています。

この機会に、大洲の魅力を再発見してみませんか。

※今月のクイズの答えは、広報大洲6月号に掲載します。



## 大洲市消費生活相談窓口通信

## 4月から電力の小売自由化がスタート

4月1日(金)から、電力の小売自由化が始まりました。

これまで、電力の契約は地域ごとの事業者と契約していましたが、自由化により、さまざまな事業者から契約相手を選ぶことができるようになります。

自由化に便乗したトラブルに遭わないために、電力自由化についてよく理解することが大切です。

## 【事例】

▽「当社と契約すれば電気料金が今よりも4割安くなる」と連絡があった。

▽太陽光発電システムを導入し、発電すればもうかると勧誘を受けた。

## 【アドバイス】

「料金が安くなる」といった勧誘に気をつけ、自分で電力の小売自由化に関する情報を収集しましょう。

小売電気事業者は、登録制になっていきます。登録業者であるか、自分の居住地域が当該事業者の供給地域になっているのか、どのような条件で安くなるのか、契約が

長期にわたるものなのか、解約の手続きや違約金など、よく確認しましょう。

自由化に便乗した、太陽光発電システム、プロパンガス、蓄電池などの勧誘が行われています。電力の小売自由化と直接関係のない契約には注意しましょう。

## 【小売自由化に関する問い合わせ先】

経済産業省 資源エネルギー庁

☎0570(028)555

## 【受付時間】

平日 午前9時～午後6時

## 【供給契約トラブルの相談窓口】

電力取引監視等委員会

☎03(3501)5725

## 【受付時間】

平日 午前9時30分～正午

午後1時～6時30分

## 【消費生活に関する問い合わせ先】

大洲市消費生活相談窓口

☎241790

## 【相談受付時間】

平日 午前9時～正午

午後1時～5時

## カメルーン便り 第三巻

## 青年海外協力隊 梶田 真緒 さん

大洲のみなさん、こんにちは。カメルーンに来て、もう9カ月が経ちました。あっという間に派遣期間の2年が終わってしまう気がします。

さて、今回は、「食レポ」をお届けします。読み終わるころにはカメルーン料理食べてみたい、行ってみようかな、と思うこと間違いなしです。それではどうぞ。

## 【食レポinカメルーン】

アフリカの食事と聞いて、何を思い浮かべますか。貧困なイメージから、食料が少ないと思う人もいるかもしれません。しかし、カメルーンは食が豊富なのです。米、麺、パンはもちろん、芋類、プランタン(甘くないバナナ)などが主食で、魚、肉、野菜、ソースなどをおかずに乗ります。私の好きなカメルーン料理を紹介します。

## 【クスクスとオクラソース】

クスクスは、アフリカの食べ物で有名です。しかし、ここのカクスクスは、少し違います。

丸くまとめられていて、手でちぎってソースにつ



けて食べます。ソースには、肉か魚が入ります。もちもちしていて無味ですが、オクラソースにつけて食べるとハマります。

最近、近所のお店のお母さんと仲良くなり、週に4回くらい食べています。

## 【バトンドゥマニョックと魚】

通称バトンと呼ばれる食べ物。見た目は、ちまきのように、弾力があり無味です。これがとても臭い。最初食べた時、こんなに臭い食べ物があるんだ、絶対もう食べないと誓いました。しかし、時間が経つにつれて「魚と食べるならバトンだね」と思うようになりました。

バトンと一緒に食べられるのが、網の上で油を塗って焼かれた魚です。この魚が本当においしくて、気づいたら頭までペロリと食べるようになっていました。



左奥がバトン

最後に、ご要望にお応えしフランス語講座です。

「Bon <sup>ボナベティ</sup>appétit」召し上がれという意味です。

ぜひ、食事のときに使ってみてください。

それではまた次回。